

H30年度島根県「水と緑の森づくり」アンケート調査について（概要）

【趣旨】

水と緑の森づくり税や水と緑の森づくり事業をはじめとする島根県の森づくりに対する思いや、期待等を把握するためにアンケート調査を実施する。

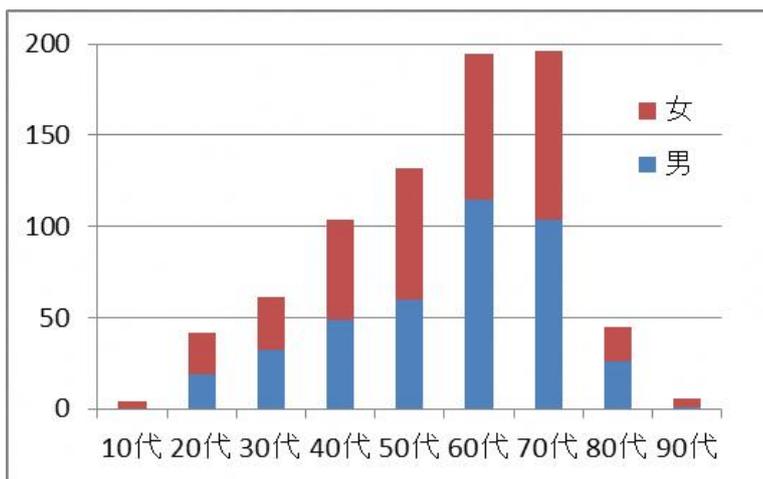
【実施方法】

- (1) 調査項目
 - ① 水と緑の森づくりについて
 - ② その他
- (2) 調査対象
 - ① 母集団 島根県内の市町村に居住する満20歳以上の男女
 - ② 標本数 2,000人
 - ③ 抽出法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出法
- (3) 調査方法
 - ① 郵送によるアンケート送付及び回答
 - ② 調査期間：平成30年10月1日～10月12日
- (4) 実施
 - ① 事業主体：島根県林業課
 - ② 調査、検証：島根大学生物資源科学部

【調査結果】

- 有効回答数809 回答率40.5%
- 男性412、女性386

	男	女
10代		4
20代	19	23
30代	32	29
40代	49	55
50代	60	72
60代	115	80
70代	104	92
80代	26	19
90代～	1	5



1. 水と緑の森づくり事業（税）の認知度について

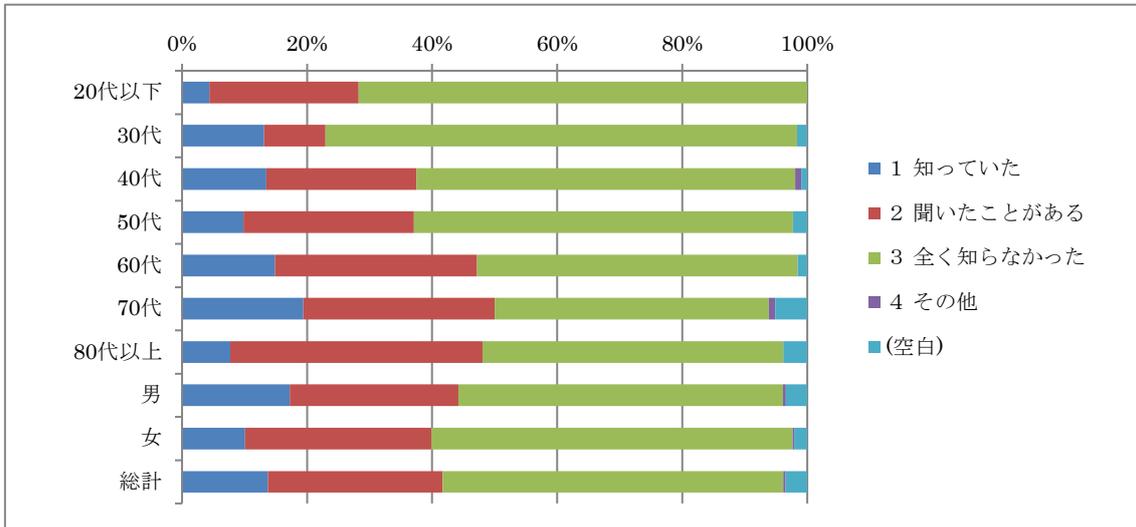
1) 税の認知度

女性よりも男性が、若い世代より 60 代以上の認知度が高かった。



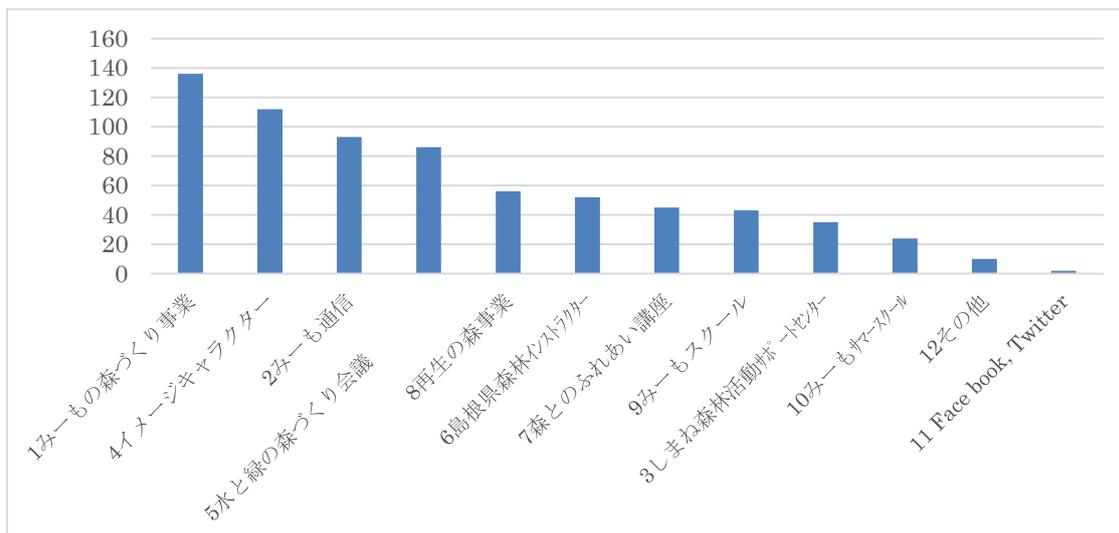
2) 事業の認知度

税の認知度より事業の認知度の方が高い傾向にあった。



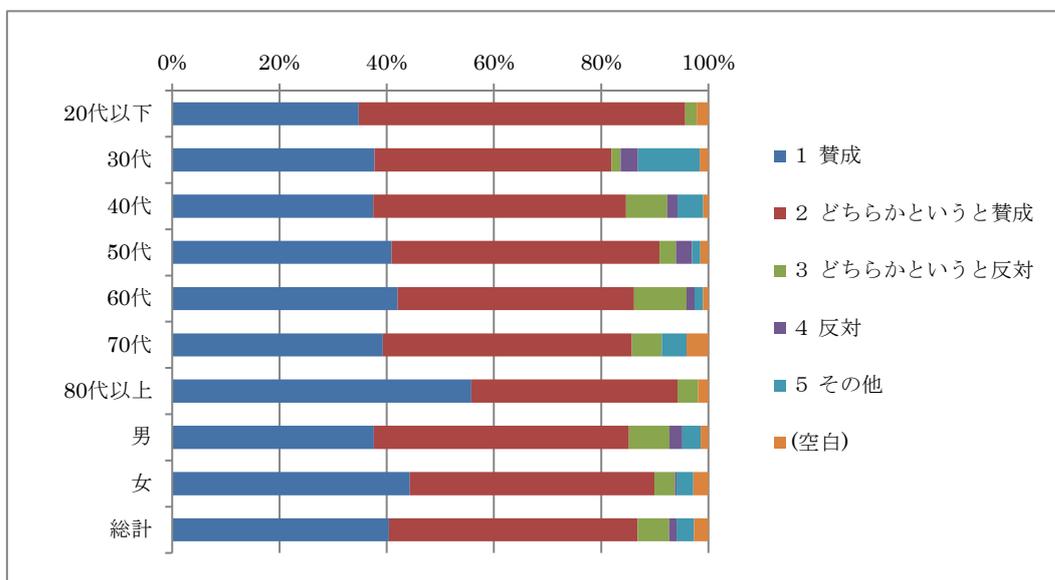
3) 事業別の認知度

県民参加型の森林活動であるみーもの森づくり事業の認知度が高く、次いでイメージキャラクターや広報誌「みーも通信」の認知度が高かった。



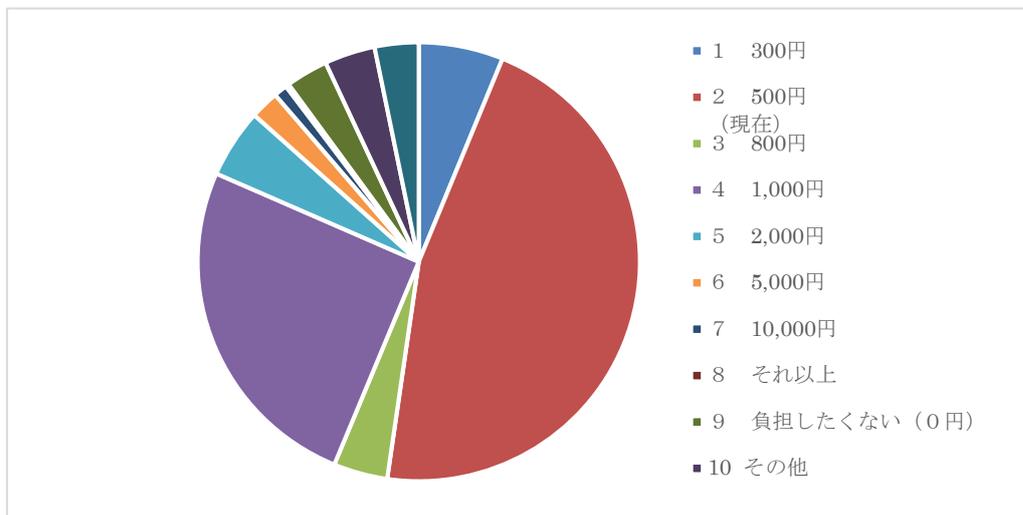
2. 水と緑の森づくり事業に対する賛否について

賛成+どちらかという賛成=87%となっており、年代や性別によって大きな差は見られなかった。



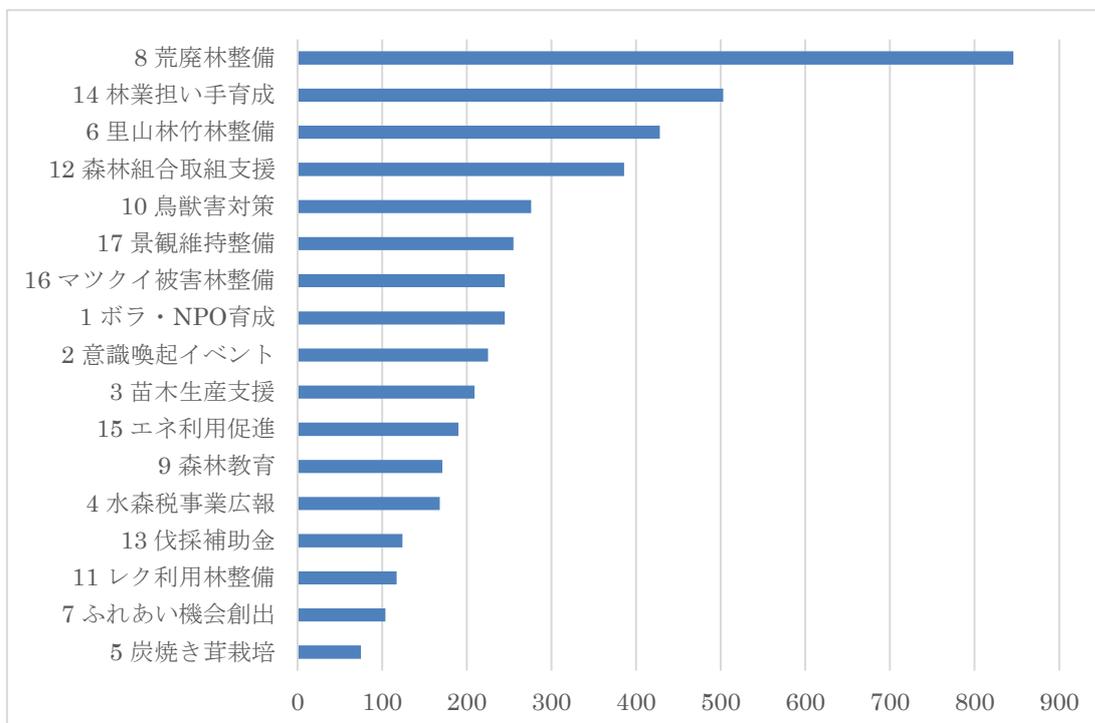
3. 妥当と思う税額について

現行の500円が妥当という意見がもっとも多く、全体の46%を占めた。倍額の1,000円程度でも良いという意見も25%あった。



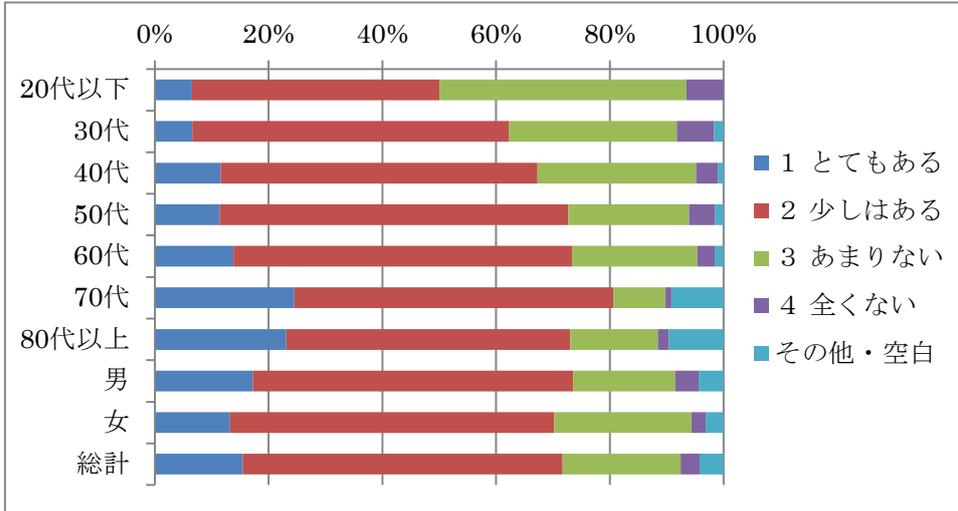
4. 税の使途として妥当と思うもの

手入れ不足の森林など荒廃森林の整備や身近な里山や竹林整備に対する支援や、それらを行う林業の担い手育成に対する支援についてのポイントが高かった。



5. 森林への興味関心について

「とてもある」「少しはある」を合わせると72%となった。性別による差はみられなかったが、20代以下ではそれ以上の年代より低い傾向がみられた。



6. 参加可能な森林ボランティア活動について

森林ボランティア活動への参加については、会社や学校行事、子どもと一緒に活動できるので企画であれば比較的参加しやすい傾向にあった。

